

町政を問う！



田中豊文 議員

町長交際費について

問 町長交際費は、地方公共団体の長又はその他の執行機関が、行政執行上、あるいは地方公共団体の利益のために地方公共団体を代表し、外部とその交渉をするために要する経費であるが、年間3百万円の予算が計上され、周防大島町になってからでも約2千万円の公金を費消している本町の町長交際費について、具体的にどのような使い方がされ、それに対してどのような成果が得られているのか、費用対効果という観点のもと、短期的・長期的視点から問う。

また、これまで平均50%程度の執行率にとどまっていることについて、新年度予算はどのよ

うな規模で編成する方針か。

交際費は一定額が資金前渡され現金で管理されているが、出納簿を作成していないなど管理方法に問題があり改善すべきではないか。

答 職務上、特に必要と認められる場合に社会通念上妥当な範囲内で支出し、交際費の執行が町政関係者との円滑な交際に資するよう事務を行っている。

税金で賄われている趣旨を鑑み、行政効果、公益性等を考慮し、住民から疑念や不信を抱かれることのないよう適切な執行に心がけている。

新年度予算については、予算総額の縮減を念頭に、執行状況を精査して歳出削減に努力している。前渡金は適切に管理している。

指定管理者公募選定と今後の制度のあり方について

問 今年度の公募で、一施設が2団体応募の他は、現管理者のみ又は応募者なしという低調な

結果となったことについての認識を問う。

選定委員会の採点結果は非公開とされる根拠規定とその理由を問う。久賀歴史民俗資料館等においては、選定委員と応募者が町の同じ諮問機関に所属していることは、公平性の観点から問題ではないのか。「圧倒的に非選定団体がよかった」という委員もあり、委員の選任方法次第で結果は大きく変わると考えるが、委員はどのような方法で決めたのか。

さらに、指定管理者制度を導入するかどうかも含め、抜本的に制度を見直す必要があると再三に渡り求めてきたが、本町の指定管理者制度運用の今後の方針について問う。

答 応募のなかった施設については直営での管理を予定している。

審査基準に基づく評価点は、総合計のみの公表であり、選定委員個別の時点までは公表していない。公開すれば、町と選定



橘ウインドパーク

委員との協力関係や信頼関係を損なう可能性がある。

選定委員は教育委員会の原案に基づき決定した。委員の選定方法も含め、今後の指定管理者制度については見直しをしていく。